

ゴー！ 医見 vol.181 衆議院議員選挙

衆議院解散総選挙、腹立たしいですね。安倍総理は「国難突破解散」と言いました。少子高齢化と北朝鮮問題が国難だと言いたいようですが、少子高齢化は今に始まったわけではなく、10年以上も前から指摘されて来た問題です。この3年間、この問題に対して安倍総理は何か成果を出したのでしょうか？「丁寧な説明」と言うのなら、まずはこの3年間で何を行い、どうなったのか、を明らかにするべきです。

北朝鮮問題

総理は「対話の努力は無駄だった。今後はさらに圧力を強めるしかない」と言っていますが、一体どんな努力をしたのでしょうか。ミサイルが失敗して日本に着弾したら多大なる被害が出ます。ましてやアメリカが武力行使などを行ったら日本が戦場になります。難民の問題も出てきます。だから、何が何でもアメリカに武力行使をさせない、北朝鮮にミサイルを撃たせない、そのために必死になって外交努力をするべきです。「無駄だった」というのは自らの無能さを白状しているようなものです。大義名分のない解散総選挙をしている暇があったら、北朝鮮に行って金正恩と差しで話をして来い！と言いたいです。アントニオ猪木を批判する権利は彼にはありません。

消費増税

平成31年10月から10%に増税、その使い道は社会保障費ではなく、教育に使うと言いました。消費税を8%に増税するときには彼は「増税分はすべて社会保障費に充てる」と言いました。しかし、実情は全くのウソでした。だから今度も全く信用できません。

アベノミクス

彼は「道半ば」と言います。しかし、いつまでたっても国民生活は全く豊かになっていません。当たり前です。給料は上がらない、年金は削られる、医療費は高くなる、

これでは経済がよくなるわけがありません。アベノミクスなどという愚策を続けて来たから「国難」になったのです。「いい加減に気が付けよ」と言いたいのです。

加計学園

御用評論家は「獣医学会が既得権益を守るために加計学園を潰しにかかっている。」と言って抵抗勢力呼ばわりをしています。一部の人たちはこれを真に受けて、「獣医が増えて競争が激しくなることで、ダメな獣医が自然淘汰されることが望ましい」と言っていますが、こんな詭弁に騙されてはいけません。医療や教育に単純な競争原理を導入してはいけません。獣医学部に限らず、大学には税金が使われます。国公立はもちろん、私立の大学にも私学助成金という形で税金が投入されます。加計学園のような怪しげな大学の学生では、国家試験に受からない、あるいはロクでもない獣医師が増えてしまう、ということになりかねません。そうなったら彼らに使った税金が全くのムダになってしまうのです。その上設立時に40億円以上の補助金を出す、というのですから、厳正で慎重な審議が求められるのは当然です。安倍総理は「一点の曇りもない」と言っていますが、残念ながら納得のいく説明はいまだになされていません。それどころか臨時国会を3か月も開かず、開いたと思ったら即解散。要するに追及されるのが怖くて逃げ回っているのです。国の難局を突破するためではなく、自分の難局を隠ぺいするための解散です。10月22日は必ず投票に行きましょう！

つばさクリニック院長 石川 亨